

## 県立盲学校 学校長：村田 孝二

【実施日時】	平成20年12月10日(水) 13:20~14:05
【参加者と人数】	小学部12名 中学部2名
【コーディネーター】	山形 正子
【講師】	ジアウン・ナハール(バングラデシュ)
【活動内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶の言葉, 国の話し(衣食住の様子, 子供たちの生活, 学校生活)について知る。</li> <li>・バングラデシュの音楽を聞く</li> <li>・バングラデシュのティーを味わう</li> </ul>
【参加者の感想】	「わたしがおどろいたのは、毎朝、川や池に入ることと、おはしを使わないで右手で食事をするということです。ほかにもお米や豆が日本のとはちがっていたのでびっくりしました。お茶の味もちがいました。いろいろなことが分かって、とても楽しかったです。」 (3年)
【担当者の感想】	自分たちと同じ子どもたちの生活の様子など身近なことをわかりやすく伝えてくださり、子どもたちは興味をもって話しに聞き入っていた。少人数での交流ということもあり、子供たちからの質問や反応を引き出し、それに丁寧に答えていただきありがたかった。ティーの試飲は体験的に文化を知る貴重な経験となったと思われる。また、視覚障害に配慮し、お正月の歌などの聴覚教材や米、豆などの触覚教材を用意してくださり、子供たちは障害特性に応じた配慮のもとでバングラデシュの文化の一端にふれることができ、日本との文化の違いを感じることができたと思われる。

